

第9回 Japan Council History Committee 委員会議事録

1. 日時：2014年9月5日（金） 15:00～16:30
(16時半より東北大学サイバーサイエンスセンター展示室の分散コンピュータ博物館を見学、懇親会を17時過ぎより開催)
2. 場所：東北大学サイバーサイエンスセンター 5階大会議室
3. 出席者：白川功 (Chair、関西支部兼任)、島村和典 (Vice Chair)、山本幹 (Secretary)、大村泰久(JC Chapter Operation Committee Chair)、柏達也 (札幌)、曾根秀昭 (仙台)、奥田治雄 (東京)、長尾雅行 (名古屋)、古賀隆治 (広島)、岩下克 (四国)、二宮保 (福岡)
Adviser: 大野栄一
JC事務局：加藤、長塚 (三菱電機：事務局サポート)

4. 資料

1. 2013-2014 IEEE JC HC 委員名簿(HC9-01)
2. IEEE JC HC 第8回委員会議事録(HC9-02)
3. 2014年度活動計画(3月26日開催 JC HC 理事会資料)(HC9-03)
4. IEEE マイルストーンの申請(2012年度配布資料)(HC9-04)
5. IEEE マイルストーンの概要 (JC HC ホームページ掲載情報) (HC9-05)
6. 日本のIEEE マイルストーンの状況(HC9-06)
7. IEEE マイルストーン関連ページ情報(HC9-07)
8. 式典報告 日本の一次・二次電池産業の誕生と成長 関西支部(HC9-08)
9. 式典報告 高圧縮音声符号化のための線スペクトル対 東京支部(HC9-09)
10. 式典報告 テレビ用14インチTFT液晶ディスプレイ 関西支部(HC9-10)
11. 東京支部 HC について(HC9-11)
(以下当日配布資料)
12. 東京支部配布資料 (マイルストーン一覧など) (HC9-12)
13. 名古屋支部配布資料 (11月マイルストーン贈呈式資料) (HC9-13)
14. 大野様配布資料 (Histelcon 関係資料) (HC9-14)

5. 議事概要

1) 2013年度体制

白川委員長からの開会の挨拶に続き、名簿確認を行った。一部訂正があり、訂正を反映し

た名簿を後日配布することとなった。

2) 第8回委員会議事録

第8回委員会議事録を確認した。

3) 2014年度の運営方針

資料に基づき、今年度の運営方針について説明があり、資料案通り決定された。

4) IEEE マイルストーンの状況

現在のマイルストーンの申請状況について報告があった。現在日本発で承認されているマイルストーンは21件である。昨年からの増分については、世界での増分が8件、R10での増分が4件であること、日本での増分が4件でR10内の増分はすべて日本によるものである。

また配布資料に基づき、マイルストーン申請に関する注意点について説明があった。銘版の文字数に70文字制限があること、贈呈式に送られてくる銘版のマイルストーン名などにミスがある場合があるので注意されたいこと、銘版の設置場所を変更した場合には支部が本部への報告義務を負うこと、などの説明があった。

5) 今年度のマイルストーン式典報告

今年度の以下のマイルストーン式典について報告があった。

4月12日 関西支部 日本的一次・二次電池産業の誕生と成長

5月22日 東京支部 高圧縮音声符号化のための線スペクトル対(LSP)

6月10日 関西支部 テレビ用14インチTFT液晶ディスプレイ

8月18日 東京支部 電力用酸化亜鉛形ギャップレス避雷器(MOSA)

6) 東京支部体制について

資料の通り東京支部においてHistory Committeeが発足したことの報告があった。なお、東京支部では常設委員会として設置されたことから、Japan CouncilにおけるHistory CommitteeがAd Hoc委員会であり任期に制限がないこととの整合性について、東京支部で確認頂きたい旨依頼があった。

7) その他

a. 名古屋支部の11月マイルストーン贈呈式に関し、長尾委員から説明があった。

b. Histelconについて、大野Advisorから説明があった。なお、本会議はR8主催会議であり、JCはR8外であることについて意見があった。

c. 次回HC委員会は、信越支部を開催地とすることが決定した。